

沖縄貨物ハブ 増便について

～ 成田＝沖縄線を1日2往復に増便 ～

～ 貨物専用機の機材稼働率向上により、成田＝台北線も増便 ～

ANA は、2011 年 12 月 5 日(月)より、沖縄貨物ハブの成田＝沖縄線を増便いたします。

沖縄貨物ハブは 2009 年 10 月にオープンして以降、沖縄の地理的優位性を活かし、日本＝アジア、アジア＝アジアの高速貨物輸送ネットワークを展開しております。これにより、沖縄那覇空港は国際航空貨物の取扱量において、日本で成田・関空に次ぐ第3位(2010 年度実績)になりました。

現行では、日本およびアジアの 8 都市間(*1)において、1 日 1 往復にて運航しておりますが、この度、首都圏需要の更なる摘み取りを目的として、成田＝沖縄線の増便を決定いたしました。

また、今回の沖縄貨物ハブ路線の増便を機に、767-300F(貨物専用機)の更なる機材稼働率向上を目指し、機材パターンを見直した事により、昼間時間帯の成田＝台北(桃園)線についても、週3便増便いたします。

今後も成長著しいアジアの各都市を網羅する沖縄ハブというビジネスモデルを活用し、日本を含めたアジア域内の貨物輸送ニーズに的確に対応してまいります。

*1 8 都市＝羽田・成田・関空・ソウル(仁川)・上海(浦東)・香港・台北(桃園)・バンコク

今回増便となる沖縄貨物ハブ路線(成田＝沖縄線)の運航ダイヤの詳細は以下のとおりです。

【運航便数】

路線	現行	変更後
成田 沖縄	6 片道/週	12 片道/週
沖縄 成田	6 片道/週	12 片道/週



(ANA 沖縄貨物ハブ 深夜の作業風景)

【ダイヤ】

路線	便名	機材	運航曜日	出発時刻	到着時刻
成田 沖縄	NH8417(増便)	767-300F	月火水木金土	22:20	01:30+1
	NH8405(既存便)	767-300F	月火水木金土	22:30	01:40+1
沖縄 成田	NH8418(増便)	767-300F	火水木金土日	06:00	08:20
	NH8406(既存便)	767-300F	火水木金土日	05:30	07:50

運航状況等により、スケジュールおよび機種については予告なく変更することがございます。

今回増便した NH8417/8418 便は、12/5～1/1、2/22～3/24 の運航となります。2012 年度以降のスケジュールについては別途 ANA CARGO HP にて御知らせいたします。

この増便に伴い、羽田＝沖縄(8557/8558 便)の機材を 767-300F 型機(貨物専用機)から 777-300 型機(旅客機)へと機材変更いたします。

機材稼働率向上により増便となる成田＝台北線の運航ダイヤ詳細は以下のとおりです。

【運航便数】

路線	現行	変更後
成田 台北(桃園)	6 片道/週	9 片道/週
台北(桃園) 成田	6 片道/週	9 片道/週

【ダイヤ】

路線	便名	機材	運航曜日	出発時刻	到着時刻
成田 台北(桃園)	NH8445(増便)	767-300F	水 金土	10:15	13:15
	NH8441(既存便)	767-300F	月火水木金土	17:35	20:35
台北(桃園) 成田	NH8446(増便)	767-300F	水 金土	15:40	19:35
	NH8442(既存便)	767-300F	火水木金土日	09:35	13:30

運航状況等により、スケジュールおよび機種については予告なく変更することがございます。

今回増便した NH8445/8446 便は、12/5～1/1、2/22～3/24 の運航となります。2012 年度以降のスケジュールについては別途 ANA CARGO HP にて御知らせいたします。

以上

【参考：沖縄貨物ハブについて】

日本を含む東アジアの中心に位置する沖縄の地理的優位性と、那覇空港の 24 時間稼働の特性を活かし、沖縄をハブとして、日本およびアジアの各都市を深夜貨物便で結ぶ国際貨物ネットワーク。沖縄を中継地として、「日本 アジア間」・「アジア アジア間」という今後も成長が期待されるアジア域内の市場を広くカバーし、深夜貨物便により高速輸送を実現し、高度化するお客様のニーズにこれまでの次元を超えたサービスで対応が可能。2009 年 10 月からスタート。現在は貨物専用機 8 機を用いて、8 都市(羽田・成田・関空・ソウル(仁川)・上海(浦東)・香港・台北(桃園)・バンコク)に就航、1 日 16 便を運航(2011 年 11 月 18 日現在)。

